

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和6年11月18日(2024.11.18)

【公開番号】特開2024-69475(P2024-69475A)

【公開日】令和6年5月21日(2024.5.21)

【年通号数】公開公報(特許)2024-092

【出願番号】特願2024-40066(P2024-40066)

【国際特許分類】

H04N19/52(2014.01)

10

H04N19/157(2014.01)

H04N19/176(2014.01)

H04N19/46(2014.01)

【F1】

H04N19/52

H04N19/157

H04N19/176

H04N19/46

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年11月1日(2024.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エンコーダが実行するビデオ符号化のための方法であって、

ソースビデオシーケンスから現在ピクチャを取得するステップと、

30

前記現在ピクチャに含まれる現在ブロックに対して、参照ピクチャに含まれる参照ブロックを特定するステップであって、前記参照ピクチャは前記現在ピクチャとは異なり、前記現在ブロックは、インターモードで符号化される第1の複数のサブブロック(CBSB)に分割され、前記参照ブロックは、第2の複数のサブブロック(RBSB)を有し、各CBSBについて、対応するRBSBが、前記現在ブロックに関する動きベクトルによって決定される、ステップと、

各CBSBについて、前記対応するRBSBがインターモードで符号化されているかを決定し、

前記対応するRBSBが前記インターモードで符号化されていないことに応答して、該CBSBの第1の動きベクトル予測値をデフォルト動きベクトル予測値に設定し、前記デフォルト動きベクトル予測値はゼロ動きベクトルであり、

前記対応するRBSBが前記インターモードで符号化されていることに応答して、該CBSBの前記第1の動きベクトル予測値として前記対応するRBSBの第2の動きベクトル予測値を用いて、該CBSBの前記第1の動きベクトル予測値を設定する、ステップと、

各CBSBについての前記第1の動きベクトル予測値に基づいて、各CBSBに対してサブブロックベース時間動きベクトル予測を実行するステップと、を含む方法。

【請求項2】

各CBSBについて、前記対応するRBSBが前記インターモードで符号化されていることに応答して、前記第1の動きベクトル予測値は、前記対応するRBSBの前記第2の

50

動きベクトル予測値のスケーリングバージョンである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記参照ピクチャは、前記現在ピクチャに関連する参照ピクチャシーケンスからの第 1 参照ピクチャである、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

ビデオ符号化のためのビデオエンコーダであって、  
処理回路を有し、  
前記処理回路は、  
ソースビデオシーケンスから現在ピクチャを取得し、  
前記現在ピクチャに含まれる現在ブロックに対して、参照ピクチャに含まれる参照ブロックを特定し、前記参照ピクチャは前記現在ピクチャとは異なり、前記現在ブロックは、  
インター モードで符号化される第 1 の複数のサブブロック (C B S B) に分割され、前記参照ブロックは、第 2 の複数のサブブロック (R B S B) を有し、各 C B S B について、  
対応する R B S B が、前記現在ブロックに関する動きベクトルによって決定され、  
各 C B S B について、前記対応する R B S B がインター モードで符号化されているかを  
決定し、

前記対応する R B S B が前記インター モードで符号化されていないことに応答して、  
該 C B S B の第 1 の動きベクトル予測値をデフォルト動きベクトル予測値に設定し、前記  
デフォルト動きベクトル予測値はゼロ動きベクトルであり、

前記対応する R B S B がインター モードで符号化されていることに応答して、該 C B  
S B の前記第 1 の動きベクトル予測値として前記対応する R B S B の第 2 の動きベクトル  
予測値を用いて、該 C B S B の前記第 1 の動きベクトル予測値を設定し、

各 C B S B についての前記第 1 の動きベクトル予測値に基づいて、各 C B S B に対して  
サブブロックベース時間動きベクトル予測を実行する、

よう構成される、  
ビデオエンコーダ。

【請求項 5】

各 C B S B について、前記対応する R B S B が前記インター モードで符号化されている  
ことに応答して、前記第 1 の動きベクトル予測値は、前記対応する R B S B の前記第 2 の  
動きベクトル予測値のスケーリングバージョンである、請求項 4 に記載のビデオエンコーダ。  
30

【請求項 6】

前記参照ピクチャは、前記現在ピクチャに関連する参照ピクチャシーケンスからの第 1 参照ピクチャである、請求項 4 又は 5 に記載のビデオエンコーダ。

【請求項 7】

命令を有するコンピュータプログラムであって、前記命令は、プロセッサによって実行  
されるときに、前記プロセッサに、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の方法を実行さ  
せる、コンピュータプログラム。